

～在留邦人の皆様へ～

(件名) デリー近郊ノイダ地区を中心とする車両乗車中の
犯罪被害について (注意喚起)

平成28年1月15日
在インド日本国大使館

昨年末からノイダ地区を中心とする地域で、在留邦人が車両乗車中、頻繁に同じような手口による犯罪被害にあっているとの情報がありますので、注意してください。

1. 犯行状況(手口)

- (1) 日中渋滞のため、車両が低速走行している際に、後ろから近寄ってきた何者かにタイヤがパンクしている旨知らされたため、降車しドライバーとパンクの箇所を確認している隙に、車内(後部座席)に置いてあったバッグ、パソコン等を盗まれた。
(注)タイヤは何者かによって刃物で切り裂かれている状態の由。
- (2) 深夜、車両がスピードブレーカー(道路が少し盛り上がった箇所)の手前で減速した際、急に前方に複数の人影が現れ金品を渡すよう要求された。

2. 対策

- (1) 見知らぬ者からパンクを指摘されても慌てず無視し、安全な場所までそのまま移動し、周囲に不審者がいないことを確認してから車外に出る。その際にはドアをロックし対応する。
- (2) 特に深夜走行中、赤信号等で停車するあるいは減速する際には、十分周囲の状況に注意し、安全の確保に気をつける。

(問い合わせ先)

○在インド日本国大使館

電話:(91)-11-4610-4610

(了)